

第2学年B組 音楽科学習指導案

授業者 柳下 康明

1 題材名 曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、工夫して表現をしよう（歌唱）

2 題材について

(1) 生徒の実態から

本学級の生徒は、音楽活動に興味・関心をもち、意欲的に表現・鑑賞の領域の学習活動に取り組んでいる。中でも歌唱では曲想と音楽の構造との関わりを考えながら取り組むことができている。その一方で、曲想と歌詞の内容との関わりを考えながら取り組むことを課題としており、本題材の設定となった。一年次に積み上げてきた、創意工夫を生かした表現に必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を生かしながら、思いや意図を明確にしたうえで、より良い音楽表現を目指して試行錯誤させていきたい。

本時の表現分野に関わる内容について学級への質問紙調査を実施した。「知識及び技能」に関する項目については『音楽の構成を理解して、その特徴を生かしながら歌っている。』では肯定的が92%となっており、一方『曲想と歌詞の内容との関わりを考えて歌っている。』については84%であり、課題とされる場所である。

また、『音楽を形づくっている要素音の働きを理解している』では「わからない」と7.4%が回答しており、改善の余地がある。『創意工夫を生かした表現をするために必要な技能が身についている（歌唱）』では35%が「あまり付いていない」と答えており、創意工夫をするために必要な知識・技能の確実な定着を図ることが必要だと考える。「思考力、判断力、表現力等」に関する項目については『思いや意図をもつことができた』では肯定的な評価が96%となっている。「学びに向かう力、人間性等」に関する項目については、『主体的に取り組むことができる』では「よくできた」「できた」が97%であり、主体的に取り組む、楽曲のよさに気づくことができている。また、『仲間と協働的に取り組むことができる』でも肯定的が93%であり、音楽のよさを伝え合い、他者からの助言を参考にしながら自己の表現を深めるなど協働的に学習する姿が見られた。また、『好きな題材はどれですか』では、「歌唱分野」が40%を占めており、コロナ禍を経て歌唱の活動が通常通り行えるようになったことが大きいと考えられる。学びの形態については『学び合い学習（ペア、グループ）で、個の考えが深まった』では肯定的が92%、『自分で課題設定を行う授業について』では、59%が「思いや意図をもつことにつながった」とする一方、「自分の技能の向上した」では25%であった。学び合いの中で、個の技能が実感をもって向上する手立てを模索していきたい。

なおA表現(1)歌唱の事項ア・イの(ア)・ウの(ア)に即して進めていく。加えて、〔共通事項〕(1)ア(本題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころになる主な音楽を形づくっている要素：「旋律」、「強弱」、「形式」)を指導する。

(2) 本校の研究内容と本題材の関連について

【手立て1】：「困難に向き合い、試行錯誤するなどの挑戦する学びの場面の設定」

本題材は重唱であり、個の思いや意図の質を高める必要があり、困難度が高い題材と言える。そのうえで、よりふさわしい歌い方を試行錯誤させながら技能を身に付けさせていきたい。また、タブレット端末を用いて録音・録画することで、自分自身の表現を客観的に見ながら、試行錯誤させていく。これらを通し、音楽的な見方・考え方を働かせることで挑戦心を引き出していく。

【手立て2】：「教師や仲間との協働的な学びの充実の手立て」

本題材では、個で考えた思いや意図が生徒間で共有され、また他者の考えに触れることにより個の表現が深まるように指導し、他者の考えを尊重する態度と多様な価値判断に触れる機会としたい。また、生徒同士をつなぎ合うことで、学級全員がねらいに向けて学び「一人残らず学ぶ教室」を創っていきたいと考える。本時においては、ペア学習を中心に学びを進めていく。本教材を重唱として取り組むことで、互いの必要性を感じながら、自身の考えた表現を試行錯誤させ、仲間の表現のよさに気づき、自身の表現に取り入れるなど、表現が深まることを目指したい。「活動あって学びなし」といった授業にならないよう、ねらいを達成するための手段として「学び合い学習」を有効に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを実現することで生徒の音楽的な資質・能力を向上させたい。

3 題材の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び背景との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で演奏をするために必要な奏法・身体の使い方などの技能を身に付ける。〈知識及び技能〉
- (2) 旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつ。〈思考力、判断力、表現力等〉
- (3) 旋律、強弱、形式によって生み出される雰囲気や表情などの変化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、音楽に対する感性を豊かにする。〈学びに向かう力、人間性等〉

4 教材について

(1) 教材および教材選択の理由

○「夏の思い出」 作詞：江間章子 作曲：中田喜直

出典：教育芸術社「中学生の音楽2・3上」 p.20・21

・わが国で長く親しまれてきた楽曲であるとともに、2部形式で曲想や音楽の構造を理解しやすいことや、歌詞から情景を容易に思い浮かべられる特徴がある。このことから曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解し、歌詞の内容を生かして歌ううえで適していると考えたからである。

5 題材の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
題材の評価規準	<p>知 「夏の思い出」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。</p> <p>技 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p>	<p>思 旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>態 「夏の思い出」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽的な活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
1時	知 ① 〈ワークシート〉	↓	↓
2時		思 〈観察・ワークシート〉	↓
3時	技 〈観察・録音提出〉	↓	態 〈観察・ワークシート〉

6 題材の指導計画と評価計画(全3時間扱い)

時	◆ねらい ○学習内容 ・主な学習活動	○指導上の留意点☆評価規準と評価方法 ★ <u>学校研究とのかかわり【手立て】</u>
〈第1次〉◆曲想と歌詞の内容との関わりを理解し、思いや意図を持つ。		
1	<p>○曲想に関心を持ち曲の雰囲気をつかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 範奏を聴き、曲想を感じ取りながら、歌う。 ・ 曲の印象などについて自由に話し合う。(ペア) <p>○歌詞の内容や作詞者、作曲者の思いや意図、曲の背景を知る。関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 尾瀬の写真を見ながら歌詞を音読したり、歌ったりして、歌詞が表す情景や心情、曲の雰囲気などをプリントに記入する。 ・ 作詞者と作曲者の思いや意図、曲の背景について教科書を読む。 <p>○「夏の思い出」の音楽を形づくっている要素を知覚し、知覚したことと感受したこととの関わりについて気づく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループで歌いながら形式の知覚し、感受したこととの関わりについて考える。 ・ 音楽の構造と歌詞の内容の関わりを考える。 ・ 歌詞の中でポイントだと思う場所を選び、丸を付け、音楽の構造と関わりのある部分を線で結び付ける。 <p>○曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを手掛かりにしながら、思いや意図を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旋律や強弱を知覚し、どのように演奏するか、感受したこととの関わりについて考える。 	<p>○どのような情景が浮かぶか、考えさせながら聴かせ、曲想を感じ取りながら歌わせるようにする。</p> <p>○聴き、歌って感じたことをペアで伝え合わせるようにする。</p> <p>○語感を大切にしながら音読させたり、歌わせたりするようにする。</p> <p>○作詞者と作曲者の思いや意図、曲の背景が曲のどのようなところに現れているか考えさせるようにする。</p> <p>○歌いながら音楽を形づくっている要素を知覚し、感受したことをプリントで結び付けさせるようにする。</p> <p>○音楽の構造と歌詞の内容との関わりを、演奏を通して、実感を伴って理解をさせるようにする。</p> <p>○歌いながら、知覚・感受を結び付けたことを確認しながらプリントに書き込ませるようにする。</p> <p>☆<u>知</u>：ワークシート ☆<u>態</u>：観察・ワークシート</p>
〈第2次〉◆曲のよさをどのように表現するか創意工夫しながら歌う。		
2 本 時	<p>○曲想と二部形式や歌詞の内容との関わりを手掛かりにしながら、創意工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思いや意図を伝えながらペアで歌い、いろいろな歌い方を試す。 <p>・ どのように演奏するか、ワークシートの楽譜に記入するとともに、ペアで表現を確認しながら歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分と同じ課題の仲間とペアを作り、歌いながら仲間の音楽表現の工夫を知る。 ・ グループで工夫を書き込んだ楽譜を共有し、自分の音楽表現の工夫を伝え、自分なりの工夫で仲間と一緒に歌う。 	<p>○線で結び付けた内容を確認させながら、歌うようにする。</p> <p>○主旋律に合わせて、ハーモニーを歌わせるなかで、ペアの思いや意図を感じ取らせるようにする。</p> <p>★<u>困難に向き合い、試行錯誤するなどの挑戦する学びの場面の設定</u> 【手立て1】</p> <p>○試行錯誤させながら表現したいことが伝わるように演奏させるようにする。</p> <p>○自分と同じ音楽を形づくっている要素を選んだ仲間でも、表現の工夫が異なることに気づかせるようにする。</p> <p>○言葉でポイントを伝えるとともに一緒に歌うことで自分の思いや意図を感じ取らせるようにする。</p> <p>★<u>教師や仲間との協働的な学びの充実の手立て</u> 【手立て2】 ☆<u>思</u>：観察・ワークシート</p>
〈第3次〉◆曲のよさをどのように表現するか思いや意図をもって歌う。		
3	○仲間の音楽表現の工夫を手掛かりにしながら、創意工	

<p>夫を生かした表現をするための歌い方を追求する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで歌い、自分の表現を試行錯誤する。 ・前時に確認した仲間の音楽表現の工夫を生かしながら歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などを試行錯誤する。 <p>○思いや意図をもって歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に思いをもって工夫するところをワークシートに書かせた上で、発声、言葉の発音、身体の使い方など技能との関わりを意識しながらペアでPCに録音する。 <p>○題材を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材を通して学んだことをワークシートに記入する。 	<p>○録音を聴きながら、聴き手に伝わる表現を追求させるようにする。</p> <p>○音楽表現の工夫を生かしながら歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などを試行錯誤させるようにする。</p> <p>○特に思いをもって工夫する部分にどのような発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能が必要か考えさせながら歌わせるようにする。</p> <p style="text-align: right;">☆技：観察・録音</p> <p>○何を学んだか記述させ、自分の課題を見つけさせるようにする。</p> <p style="text-align: right;">☆態：観察・ワークシート</p>
---	--

7 本時の学習活動（2/3）

(1) 本時の目標

- ・「夏の思い出」の旋律、強弱、形式の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したものとのかかわりについて考え、「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。 〈思考力、判断力、表現力等〉

(2) 展開

○学習内容 ・ 学習活動	○指導上の留意点 ☆評価規準と評価方法 ★学校研究とのかかわり【手立て】
<p>○学習の雰囲気づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夏の思い出」を全体で合わせて演奏をする。 <p>○本時の目標を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の流れを確認する。 	<p>○音楽の授業に切り替えさせるようにする。</p> <p>○前時で知覚・感受を結び付けたことを確認しながら歌わせるようにする。</p> <p>○プリントにそって本時の流れを確認させるようにする。</p>
<p>○曲想と二部形式や歌詞の内容との関わりを手掛かりにししながら、創意工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律、強弱のどちらかについて、自分の思いや意図を伝えながらペアで歌い、いろいろな歌い方を試す。 ・どのように演奏するか、ワークシートの楽譜に記入し、表現を確認しながら歌う。 ・自分と同じ課題の仲間とペアを作り、歌いながら仲間の音楽表現の工夫を知る。 ・グループで工夫を書き込んだ楽譜を共有し、自分の音楽表現の工夫を伝え、自分なりの工夫で仲間と一緒に歌う。 	<p>★<u>困難に向き合い、試行錯誤するなどの挑戦する学びの場面の設定</u> 【手立て1】</p> <p>○ペアの思いや意図を感じ取らせるなかで、試行錯誤させながら表現させるようにする。</p> <p>○歌いながらどのように演奏するか、ワークシートの楽譜に記入させるようにする。</p> <p>○自分と同じ音楽を形づくっている要素を選んだ生徒でも、表現の工夫が異なることに気づかせるようにする。</p> <p>○言葉で表現の工夫を伝えるとともに、一緒に歌うことで思いや意図を実感を伴って理解させるようにする。</p> <p>★<u>教師や仲間との協働的な学びの充実の手立て</u> 【手立て2】</p> <p>☆旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したものとのかかわりについて考え、「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p style="text-align: right;">(思)：活動観察・ワークシート</p>
<p>○次時の学習に興味・関心を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の音楽表現の工夫を生かしながら歌うために必要な技能を考える。 	<p>○音楽表現の工夫を生かしながら歌うためにどのような必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などが必要か考えさせるようにする。</p>

8 備考 在籍生徒数 男子 18 名 女子 18 名 計 36 名